

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人田原学園 浜町幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・それぞれの子ども達が十分に自己を発揮し自己充実する
- ・様々な体験を通して、自分で行動する意欲や態度を育てる
- ・友だちを思いやる心を育てる

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・チーム保育を実践していくにあたり若手教職員への環境調整を心掛ける。
- ・支援を要する子どもたちへの教員間の協力的な指導を確かなものにし、一人ひとりにあわせた支援を充実させる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
若手職員への環境調整	A	ベテラン教諭、中堅教諭と新任教諭を分け、それぞれに年度始めに研修を行い、連携にあたっての心構えや援助について認識を共有した。保育補助の教諭が増員され、物理的にも精神的にも余裕のある保育が出来、子ども、教員ともに充実感が増した。
特別支援教育	A	教諭の研究、研鑽を管理職がバックアップし、知見を深める図書を提供する等し、話し合う機会を増やした。専門機関の先生とも話を深め、支援の仕方や意味も理解し、保護者とも、より踏み込んで話し合いながら連携することが出来た。
衛生管理	C	コロナウイルス感染対策では新しい情報や知見をアップデートしながら取り組んでいったが、年度末のインフルエンザ流行においては、先手を打つ事が遅れ、感染が拡がり、学級閉鎖や臨時休園措置をとることとなった。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	管理職とベテラン、若手教職員の連携が雰囲気良く、上手くいった。子どもの成長にも効果がみられ、登園することに困り感のある園児が一人もなく一年間を過ごすことが出来た。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
コロナ後の保育の見直し、保護者との連携	行事を含め新たな時代にマッチする保育のあり方を考察、検討し構築していく。 保護者との連携及び父母の会活動のあり方を再考し、改革してゆく。
特別支援教育	支援を要する園児だけに限らず、ひとり一人の個性、特性を見きわめ、適切な働きかけを実践し、振り返り、効果をはかる。
安全管理体制の確立	バス運行管理、生活安全、災害安全の管理体制を見直し、確立させていく。形式的になりがちな訓練や安全教育を見直す。

6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度もコロナ禍の影響は大きく、幼稚園もいろいろと大変だったことでしょう。その中で感染予防の徹底を図りながら、運動会、発表会などの大きな行事も感染リスクを軽減する形で開催して頂き、心より感謝しております。

今年度特に印象的だったのは各行事で目にする先生方の連携の良さです。担任の先生はもちろん、補助の先生方も多く配置していただき、園生活の様々な場面でサポート体制の充実さが感じられました。そして先生方が生き生きと立ち回られる姿にきっと子ども達もこの先生方と心通わせて、楽しい園生活を送ってきたのだらうと思いました。

世の中が少しずつコロナ禍の影響が薄まりつつある昨今ですが、コロナ明けの時代にあった保育や園運営を展開されることを願っております。

学校関係者評価委員  ㊟

学校関係者評価委員  ㊟

学校関係者評価委員  ㊟

委員会実施日 令和 5年 3月 18日